

○ 米粉パン・米粉麺に適した米粉専用品種（1）

- 米粉の需要拡大に向けて、原料用米の生産面では、米粉パンに適した「ミズホチカラ」や「笑みたわわ」、米粉麺に適した「亜細亜のかおり」等、研究機関等において加工適性や収量に優れた品種を開発。
- 米粉に適した米粉用米の生産が各地で増加しており、これらを使用した米粉製品が各地で開発。

米粉パンに適した品種

ミズホチカラ

- ・「ミズホチカラ」は多収で「ヒノヒカリ」より20日程度遅く成熟する米粉用品種。
- ・収量は、「ヒノヒカリ」より41%多収（686kg/10a）。
- ・米粉パンのふくらみが良く、米粉加工適性に優れる。
- ・栽培適地は、暖地の普通期栽培地帯と温暖地平坦部の早植え地帯（主に九州）。



ミズホチカラ



「ミズホチカラ」の米粉パン

笑みたわわ

- ・「笑みたわわ」は、多収で「ヒノヒカリ」より10日ほど遅く成熟する米粉用品種。
- ・収量は、「ヒノヒカリ」よりかなり多収（677kg/10a）。
- ・米粉の粒径が小さく、損傷デンプンの割合が低い米粉が得られやすく、製粉適正に優れる。
- ・栽培適地は暖地及び温暖地（関東以西）。



笑みたわわ



「笑みたわわ」の米粉パンケーキ

ほしのこ

- ・「ほしのこ」は製粉特性が優れ、米粉原料に向く品種。
- ・パン・洋菓子等として小麦粉の代わりに使える米粉が一般品種より容易に製造可能。
- ・栽培適地は北海道。



ほしのこ



「ほしのこ」の米粉で作ったパン

こなだもん

- ・「こなだもん」の玄米収量は「ヒノヒカリ」とほぼ同じ。
- ・米粉の損傷デンプンが少なく、粒も細かいため、パンが膨らむ。
- ・焼いてから時間が経っても比較的固くなりにくいのが特長。
- ・栽培適地は暖地及び温暖地。



こなだもん



「こなだもん」の米粉パン

米粉麺に適した品種

ふくのこ

- ・「ふくのこ」は、アミロース含有率が27%程度で、従来の高アミロース品種と同様に、米粉麺への加工が可能。
- ・「ヒノヒカリ」と収穫時期はほぼ同じで、2割ほど多収。
- ・栽培適地は、「ヒノヒカリ」の栽培が可能な関東以西の平坦地。



ふくのこ



「ふくのこ」の米粉麺

亜細亜（あじあ）のかおり

- ・「亜細亜のかおり」は、アミロース含有率が32%程度の高アミロース米品種。
- ・「コシヒカリ」よりも収穫期が遅く、標肥栽培で789kg/10aと多収。
- ・米麺に適し、アジア風の米麺としての利用が期待。
- ・栽培適地は、北陸から東海、関東以西。



亜細亜のかおり



亜細亜のかおり

越のかおり

- ・「越のかおり」は、アミロース含有率が33%程度の高アミロース品種。
- ・麺に加工すると茹でても溶けにくく、麺離れが良いので新しい食感。
- ・北陸では「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」と同じ中生品種。
- ・収量は「コシヒカリ」よりもやや劣るが、「キヌヒカリ」と同等。



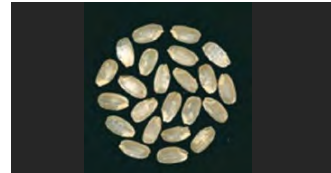
越のかおり



「越のかおり」を使った商品例

北瑞穂（きたみずほ）

- ・「北瑞穂」はやや多収（600kg/10a）の高アミロース米品種。
- ・米粉の加工適性が高く、ライスパスタやクッキーに適している。
- ・栽培適地は北海道。



北瑞穂



「北瑞穂」で試作したライスパスタ

あみちゃんまい

- ・「あみちゃんまい」はアミロース含有率が30%程度の高アミロース米品種。
- ・生育は「コシヒカリ」より早く、「ひとめぼれ」と同等。
- ・栽培適地は、東北中南部、北陸及び関東以西。



あみちゃんまい



あみちゃんまい

注）これら9品種は需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領（令和5年3月31日一部改正）において米粉専用品種として示された品種。このほか、米粉専用品種には都道府県知事特認品種も含まれる。

引用：農研機構 2024様々な用途に向くお米の品種シリーズ

米粉の用途別基準 ・ 用途表記

用途表記	1番	2番	3番	測定法
主な用途 項目	菓子・料理用	パン用	麵用 <small>（※一部、菓子・料理用を含む。）</small>	
粒度 (μm)	粒径75 μm 以下の比率が50%以上			レーザー 回折散乱式
澱粉損傷度 (%)	10%未満			酵素法 (AACC法 76-31)
アミロース含有率 (%)	20%未満 〔適応する用途の詳細は【参考】のとおり〕	15%以上 25%未満	20%以上 〔適応する用途の詳細は【参考】のとおり〕	ヨウ素呈色 比色法 又は 近赤外分光 方式
水分含有率 (%)	10%以上15%未満			105℃ 乾燥法 又は 電気抵抗 式（電気 水分計）
グルテン 添加率 (%)	—	18~20%程度 <small>（※グルテンを添加している旨を 明記する必要）</small>		—

注) 各用途の具体的な例は【参考】を参照。

各米粉の具体的な用途の例及びアミロース含有率に応じた用途詳細

1番		2番	3番	
アミロース含有率		アミロース含有率		
ソフトタイプ	ミドルタイプ	ハードタイプ		
15%未満	15%以上 20%未満	25%以上		
柔らかいスポン ジケーキ（例え ばシフォンケ ーキなど）、 クッキー	スポンジケ ーキ、 クッキー、 天ぷら粉、 お好み焼き粉、 唐揚げ粉、 惣菜類（とろみ 付け等）	パン全般	麵全般	強弾力の麵、 洋酒に浸すなど の固めのケーキ

<付帯事項>

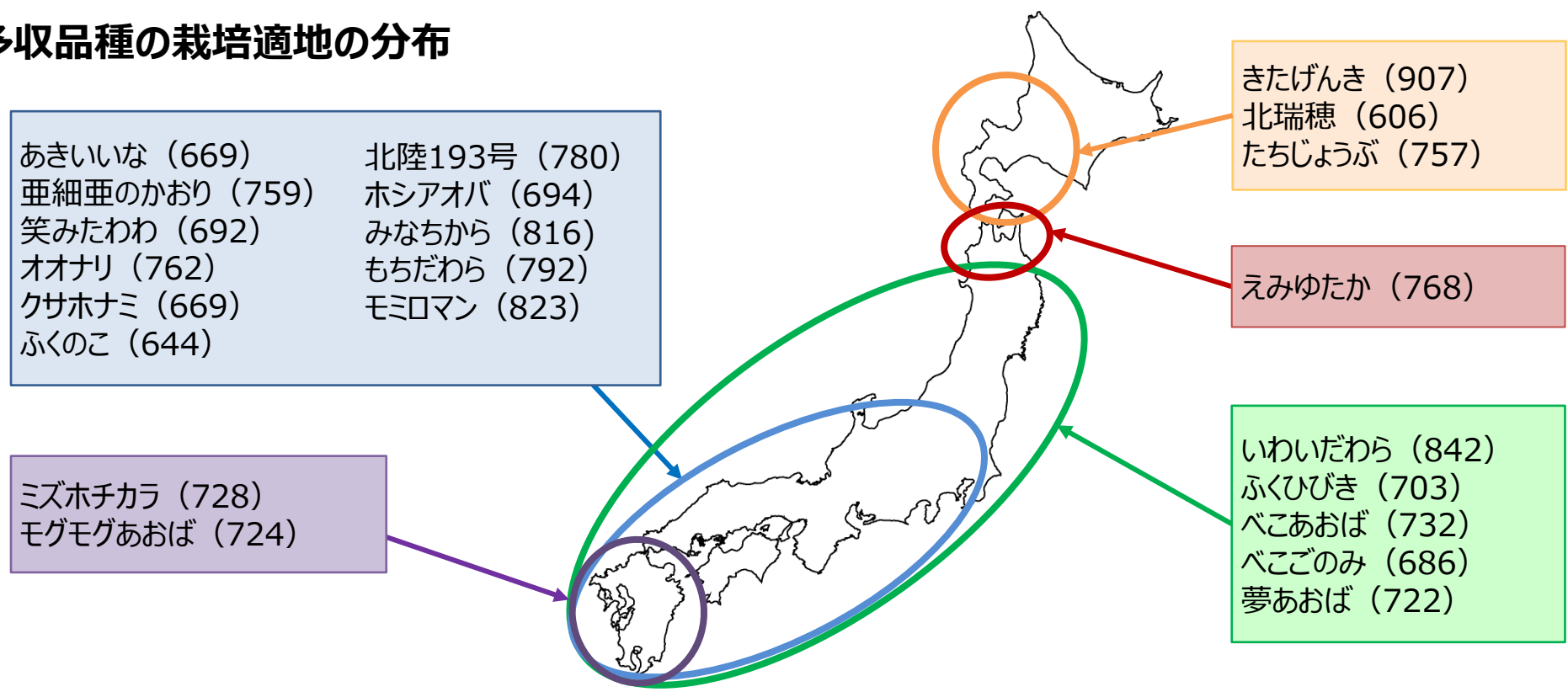
- 1番の米粉は、アミロース含有率の別によって適応する用途が異なるので、米粉製造業者は、上表を参考としながら、表示等により、消費者等に対して、用途の詳細情報を伝達するものとする。
- 3番の米粉であってアミロース含有率25%以上のものは強弾力の麵への適性が高いので、米粉製造業者は、上表を参考としながら、表示等により、消費者等に対して、当該情報の積極的な提供に務めるものとする。

注) 上新粉など、既存用途向けの米穀粉は対象としない。

○ 多収品種について

- 多収品種については、「需要に応じた米の生産・販売の推進に関する要領」において、以下の2区分が設けられている。
 - ① 国の委託試験等によって、飼料等向けとして育成され、子実の収量が多いことが確認された品種
 - ② 一般的な品種と比べて子実の収量が多く、当該都道府県内で主に主食用以外の用途向けとして生産されているもので、全国的にも主要な主食用品種ではないもののうち、知事の申請に基づき地方農政局長等が認定した品種（特認品種）

多収品種の栽培適地の分布



注 () の数値は研究機関における実証単収の一例で、単位はkg/10a

○ 各都道府県において栽培可能な多収品種

(令和6年8月作成)

都道府県	多収品種	特認品種
北海道	きたげんき、北瑞穂、 たちじょうぶ	そらゆたか
青森県	えみゆたか	ゆたかまる
岩手県	いわいだわら、ふくひびき、 べこあおば、べこごのみ、 夢あおば	たわわっこ、つぶみのり、 つぶゆたか
宮城県		東北211号
秋田県		秋田63号、たわわっこ
山形県		山形22号、山形糯110号
福島県		アキヒカリ、たちすがた、 まいひめ
茨城県		あきだわら、ちほみのり、月の光
栃木県		月の光
群馬県		
埼玉県		むさしの26号
千葉県		アキヒカリ、初星
東京都		
神奈川県	あきいいな、 亜細亜のかおり、 いわいだわら、笑みたわわ、 オオナリ、クサホナミ、 ふくのこ、ふくひびき、 べこあおば、べこごのみ、 北陸193号、ホシアオバ、 みなちから、もちだわら、 モミロマン、夢あおば	
山梨県		ふくおこし
長野県		あきだわら、月の光、どんとこい
静岡県		アキヒカリ、いただき、亀の蔵、 新潟次郎、ゆきみのり、 ゆきみらい
新潟県		アキヒカリ、やまだわら
富山県		アキヒカリ、とよめき、 やまだわら
石川県		あきだわら、シャインパール
福井県		あきだわら、アキヒカリ
岐阜県		タチアオバ、とよめき、 もみゆたか
愛知県		

都道府県	多収品種	特認品種
三重県	あきいいな、 亜細亜のかおり、 いわいだわら、笑みたわわ、 オオナリ、クサホナミ、 ふくのこ、ふくひびき、 べこあおば、べこごのみ、 北陸193号、ホシアオバ、 みなちから、もちだわら、 モミロマン、夢あおば	あきだわら、タチアオバ、 やまだわら
滋賀県		吟おうみ
京都府		あきだわら、やまだわら
大阪府		
兵庫県		あきだわら、兵庫牛若丸
奈良県		
和歌山県		
鳥取県		コガネヒカリ、日本晴
島根県		みほひかり
岡山県		とよめき、中生新千本、 やまだわら
広島県		中生新千本
山口県		あきだわら
徳島県		
香川県		
愛媛県		媛育71号
高知県	とよめき、ちはるか	
福岡県	あきいいな、 亜細亜のかおり、 いわいだわら、笑みたわわ、 オオナリ、クサホナミ、 ふくのこ、ふくひびき、 べこあおば、べこごのみ、 北陸193号、ホシアオバ、 ミズホチカラ、みなちから、 モグモグあおば、 もちだわら、モミロマン、 夢あおば	ツクシホマレ、タチアオバ、 夢一献
佐賀県		さがうらら、レイホウ
長崎県		夢十色
熊本県		越のかおり、タチアオバ
大分県		タチアオバ
宮崎県		タチアオバ、ひなたみのり、 み系358、宮崎52号
鹿児島県		くいつき、タチアオバ、 ミナミユタカ、夢十色、 夢はやと、ルリアオバ
沖縄県		

○ 飼料用米の利用拡大のための機械・施設整備等に対する支援

- 産地で必要とされている飼料用米保管施設（カントリーエレベーター、飼料保管タンク、飼料用米保管庫等）の整備を支援。なお、施設整備に伴う産地の負担を軽減する観点から地域の既存施設の有効活用を図ることが基本。
- 畜産農家が飼料用米を利用するために必要な機械の導入や施設の整備を支援。

● 強い農業づくり総合支援交付金（令和7年度予算概算決定額：120億円の内数）

稲作農家が受益となる施設

→ 飼料用米の生産拡大に対応するための施設の新設・増築や機能向上を支援。
（※単独施設での整備も可能だが、周辺に利用率が低い施設があれば、複数施設の再編を行う。）

例1：飼料用米のカントリーエレベーターを新設



例2：カントリーエレベーターを増築し、飼料用米にも対応



畜産農家が受益となる施設

→ 自給飼料（飼料用米を含む）生産拡大に対応するために必要な保管・加工施設等の整備を支援。
（※長期の利用供給に関する協定を締結すること等が条件。）

例：TMRセンターに飼料用米保管タンクを増設



● 畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（令和6年度補正（所要額）：319億円の内数） （畜産クラスター事業）

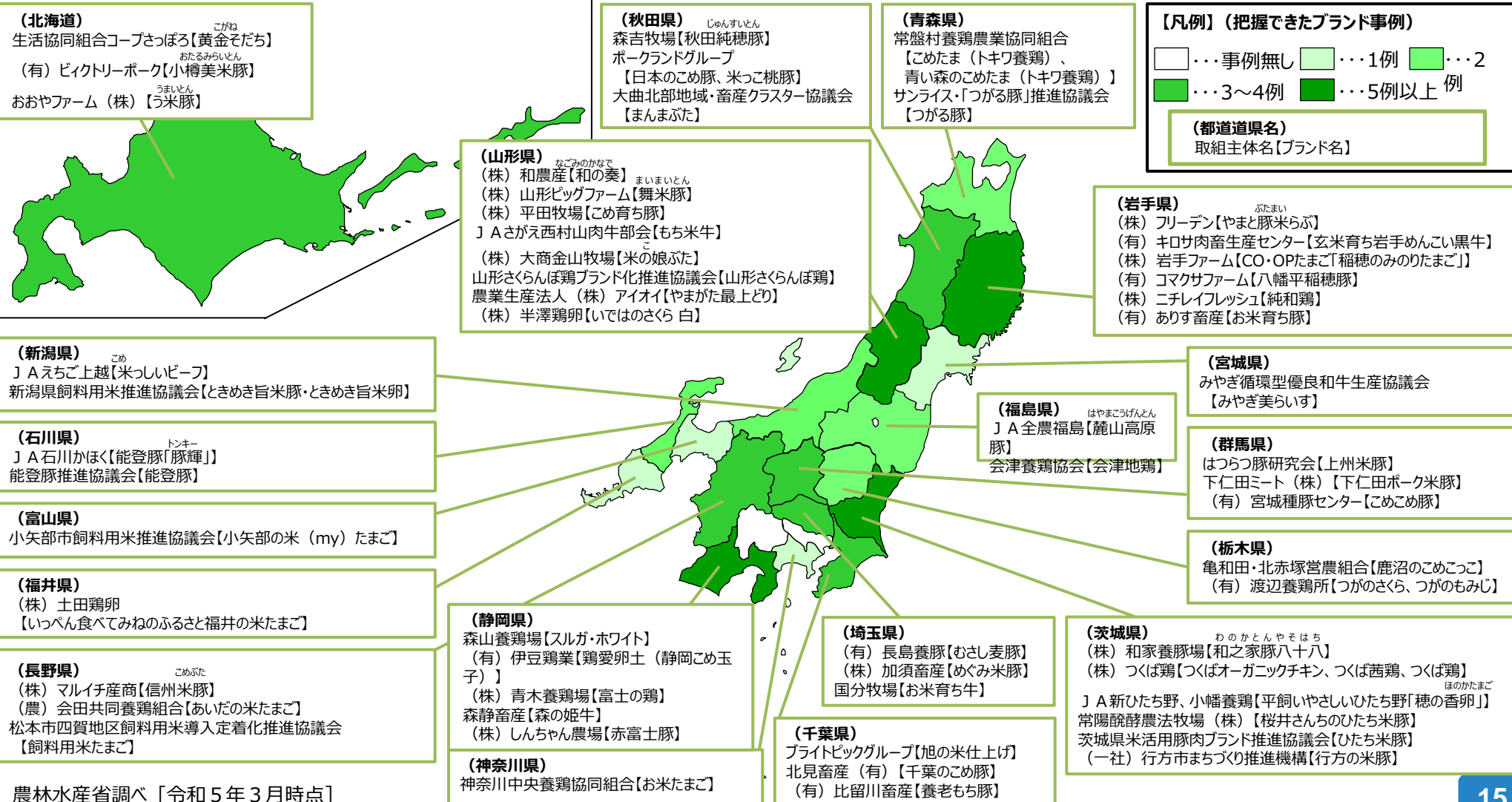
→ 畜産クラスター計画に位置付けられた地域の中心的な経営体（畜産農家、飼料生産組織等）が飼料用米の保管・加工・給餌するために必要な機械の導入、施設整備等を支援。

例：米粉砕機、飼料保管タンク、混合機等の導入



○ 飼料用米を活用した畜産物のブランド化事例①

- 飼料用米の利活用之际には、輸入とうもろこしの代替としての位置づけを超えて、その特徴を活かし畜産物の高付加価値化を図ろうとする取組が見られる。(41道府県102事例)
- 国産飼料であることや水田の利活用に有効であること等に理解を示す消費者層等から支持を集めている。



飼料用米を活用した畜産物のブランド化事例②

【凡例】（把握できたブランド事例）

…事例無し
 …1例
 …2例
 …3～4例
 …5例以上

（道県名）
取組主体名【ブランド名】

（山口県）
 (株) 出雲ファーム
 【やまぐちの米育ち、長州米たまご、米たまご、こめたまご、山口米たまご、加工品】
 深川養鶏農業協同組合
 【長州どり、長州黒かしわ】
 (有) 鹿野ファーム
 【鹿野高原豚、お米豚】

（島根県） まいぎゅう
 (有) 藤増・J Aしまね出雲地区本部【まい米牛】
 (有) 旭養鶏舎【島根のこめたまご】
 (有) 福田ファーム【島根のこめたまご】
 (有) 山本産業【石見のこめたまご】

（鳥取県）
 (株) 美歎牧場【米そだち牛】
 (株) 西日本ジェイエイ畜産・鳥取県生活協同組合
 【大山こめ豚【みみとん】】
 小川養鶏場【さくらのこめたまご】

（広島県）
 広島たまご (株) 【生協産直こめたまご、稲の香り、3-R広島こめたまご、ひろたま、広島の卵（白）】
 (株) 広島ポーク【お米・ポーク】 まい

（岡山県）
 生活協同組合おかやまコープ
 【コープおかやま牛、コープおかやま豚、コープ産直こめたまご、コープおかやま若鶏】
 新田養豚【米ブレックとん】

（兵庫県）
 (株) オクノ【オクノの玉子】
 飼料用米を活用した鶏卵・鶏肉のブランド化推進協議会 ほほえみ
 【ひよごの穂々笑実】

（福岡県）
 城井ふる里村 (有) 【築上の米卵】
 J A全農ふくれん【博多すい〜とん】

（京都府）
 京都生協【さくらこめたまご】

（佐賀県）
 (株) ヨコオ【みつせ鶏】

（滋賀県）
 生活協同組合コープしが【産直こめ育ちさくらたまご】

（長崎県） かんびとん
 (株) 土井農場【諫美豚】
 長崎県中央農業協同組合【ながさき健王豚】
 (株) 柿田ファーム【雲仙あかね豚】

（岐阜県）
 CO・OPぎふ【さくら米たまご】

（大分県） とよのこめたまご
 (有) 鈴木養鶏場【豊の米卵】
 (有) 福田農園【錦雲豚】 さんらんどん
 豊後・米仕上牛販売拡大協議会【豊後・米仕上牛】
 大分米ポークブランド普及促進協議会【米の恵み】

（愛知県）
 (有) デイリーファーム【あいちの米たまご】
 J Aあいち経済連【みかわポーク】

（熊本県）
 J A菊地【えこめ牛】 やそほちたまご
 (有) 那須ファーム【八十八卵】

（三重県） いせうまいねぶた
 (株) 大里畜産【伊勢美稲豚】
 (株) 地主共和商会【平飼い米たまご、お米美人】

（鹿児島県）
 マルイグループ【マルイ元気米たまご、米そだち元気鶏】
 (株) カミチク【玄米黒牛】

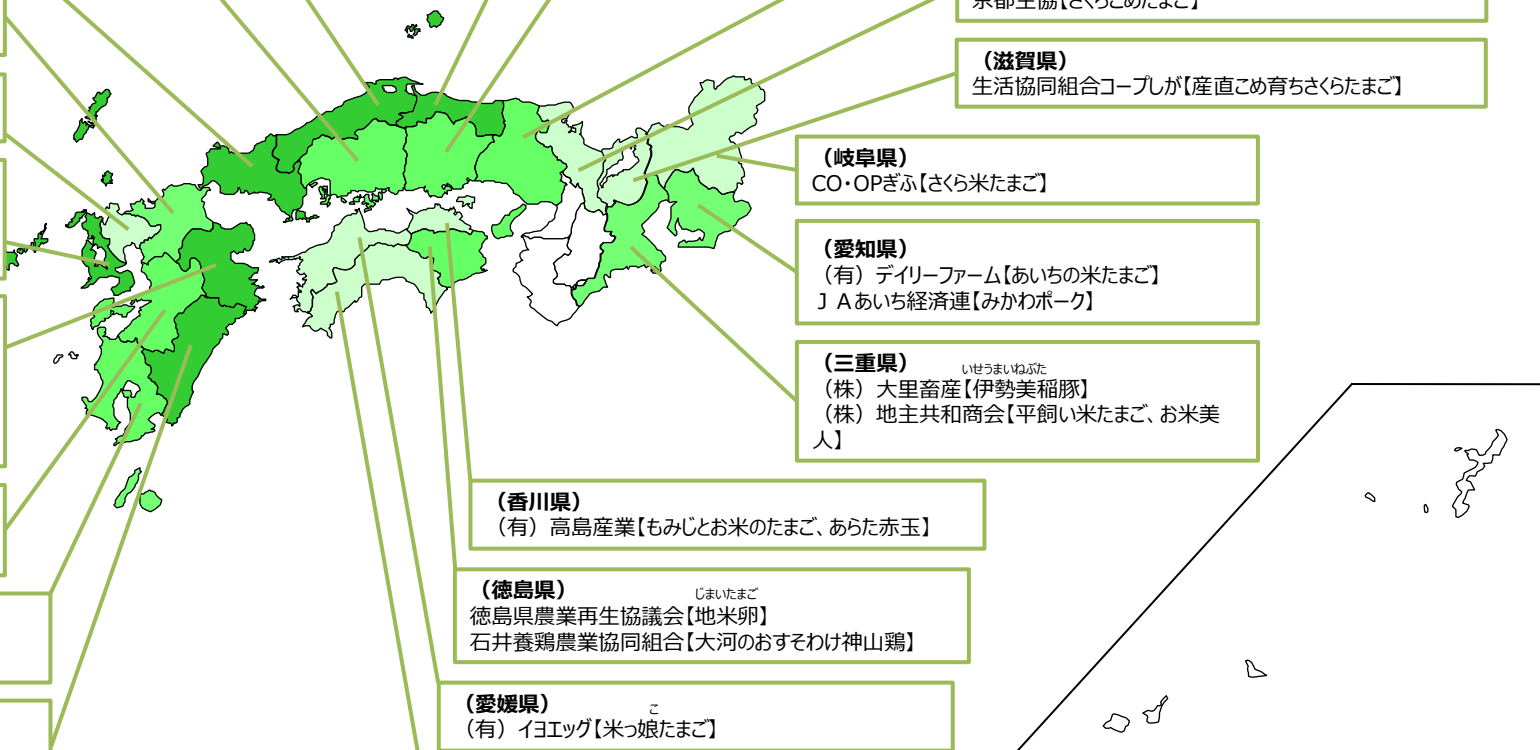
（香川県）
 (有) 高島産業【もみじとお米のたまご、あらた赤玉】

（宮崎県） げんまいっこ
 J A宮崎経済連【米の子、玄米鶏、米寿ポーク】
 (有) エムケイ商事【エムケイさんちのお米豚】 こめぶた
 えびのエコフィード利用・増産推進協議会【いもこ豚】

（徳島県） じまいたまご
 徳島県農業再生協議会【地米卵】
 石井養鶏農業協同組合【大河のおすわけ神山鶏】

（愛媛県） こ
 (有) イヨエッグ【米っ娘たまご】

（高知県） こめぶた
 四万十農協飼料米活用研究会【四万十ポーク【米豚】】



○ 飼料用米の取組状況

- 令和6年（2024年）産の飼料用米作付面積は9.9万haとなり、令和5年（2023年）産から3.5万ha減少。
- また、飼料用米の生産の約5割が経営規模（全水稻の作付面積）が15ha以上の大規模農家により担われている。

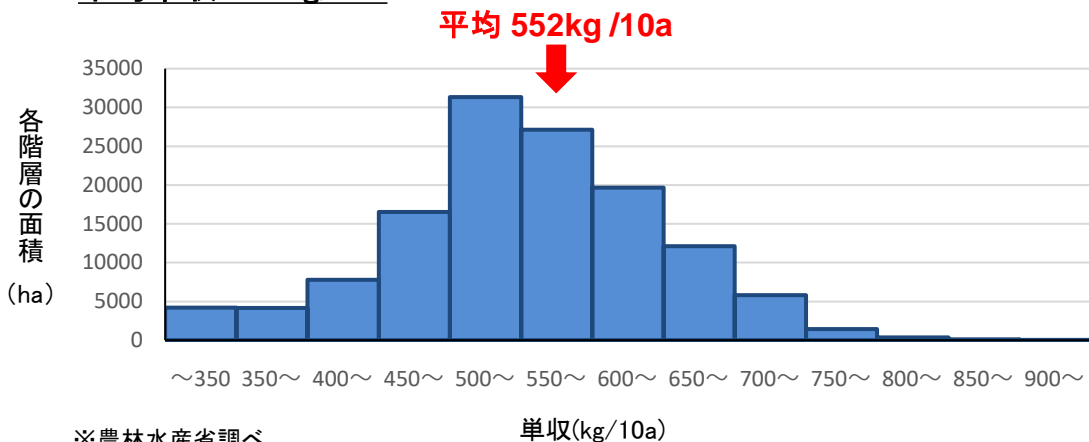
【飼料用米の作付・生産状況】

	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	R6
飼料用米作付面積（万ha）	3.4	8.0	9.1	9.2	8.0	7.3	7.1	11.6	14.2	13.4	9.9
うち、多収品種の作付面積（万ha）	1.3	3.0	3.9	4.6	4.5	4.3	4.0	4.6	5.2	5.6	7.3
割合	39%	37%	43%	50%	56%	60%	56%	39%	37%	42%	74%
うち、区分管理の取組面積（万ha）	2.7	6.0	7.3	7.6	7.0	6.5	6.3	9.1	11.3	10.8	9.1
割合	80%	75%	80%	83%	88%	89%	89%	78%	80%	82%	92%
飼料用米生産量（万トン）	19	44	51	50	43	39	38	66	80	74	53

注：「区分管理」とは、主食用米を生産する圃場とは異なるほ場で飼料用米のみを作付ける手法で、主食用米と同一のほ場で飼料用米を生産する「一括管理」と比べて、多収品種の導入が容易で、飼料用米の定着が期待できる。
 「飼料用米生産量」は、実際の収量を反映した実績値。R6年生産量については、地域の基準単収を使用し、算定された生産数量見込みであり、作柄等が反映された生産量とは異なる。

○ 飼料用米の単収分布（令和5年産）

平均単収：552kg/10a



【参考】単収の推移

	H27年産	H28年産	H29年産	H30年産	R元年産	R2年産	R3年産	R4年産	R5年産
水稻平均単収	531	531	532	532	533	535	535	536	536
水稻平均単収	531	544	534	529	528	531	539	536	533
飼料用米平均単収	555	558	549	538	539	539	575	568	552

○ 飼料用米生産者の経営規模（全水稻の作付面積）別分布状況（令和5年産）

